

保健師の全戸家庭訪問による  
岩手県大槌町健康生活調査  
(第二報 分析結果と復興計画への提案)



作成：平成23年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）  
「地震による津波で被災した一人暮らし高齢者・高齢者世帯の  
生活再構築のための支援過程の構造化」事業班  
協力：一般社団法人全国保健師教育機関協議会 東日本大震災復興支援教育・研究プロジェクト

平成23年9月6日

# ●人口の減少を予防し、 心と体の元気を回復する大槌町に！

## 1.町民が元気になる保健医療福祉活動を！

- 1)こころの元気のために
- 2)からだの元気のために

## 2.町民が戻り、新たな人を連れてくる町づくり

- 1)ひとが増えるために
- 2)物流と交流の発展のために

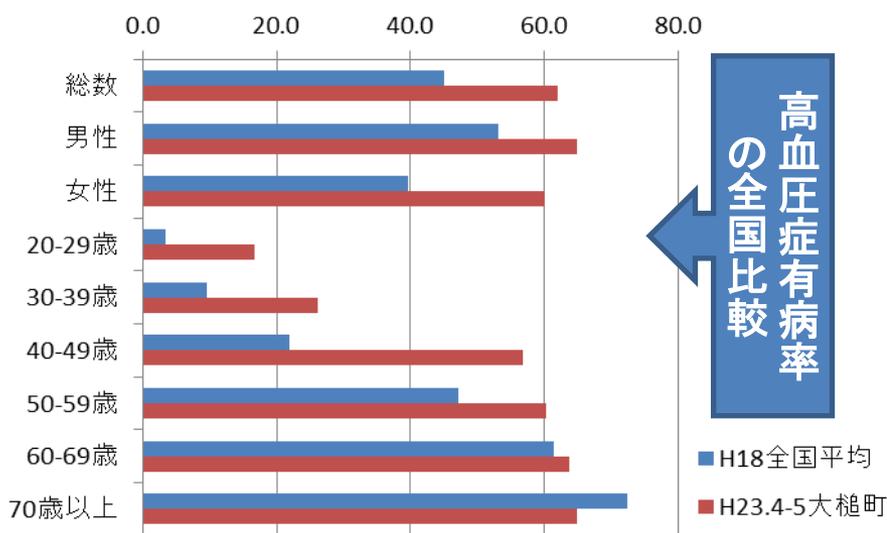
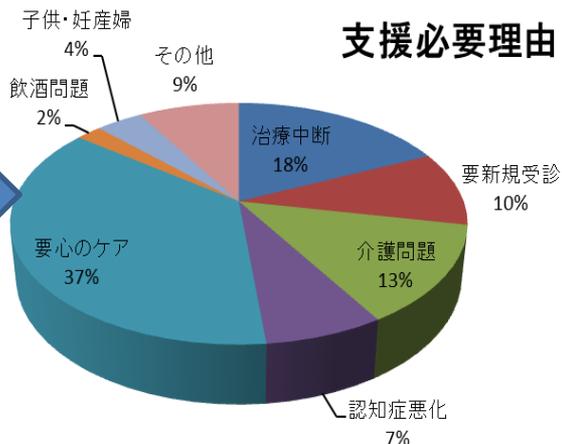
## 3.大槌町民同士の生き抜く力をひとつに！

- 1)大槌を愛する町民を核に再生を！
- 2)津波を忘れない防災・減災意識の伝承

# 1.町民が元気になる保健医療福祉活動を！

- 1)こころの元気のために
- 2)からだの元気のために

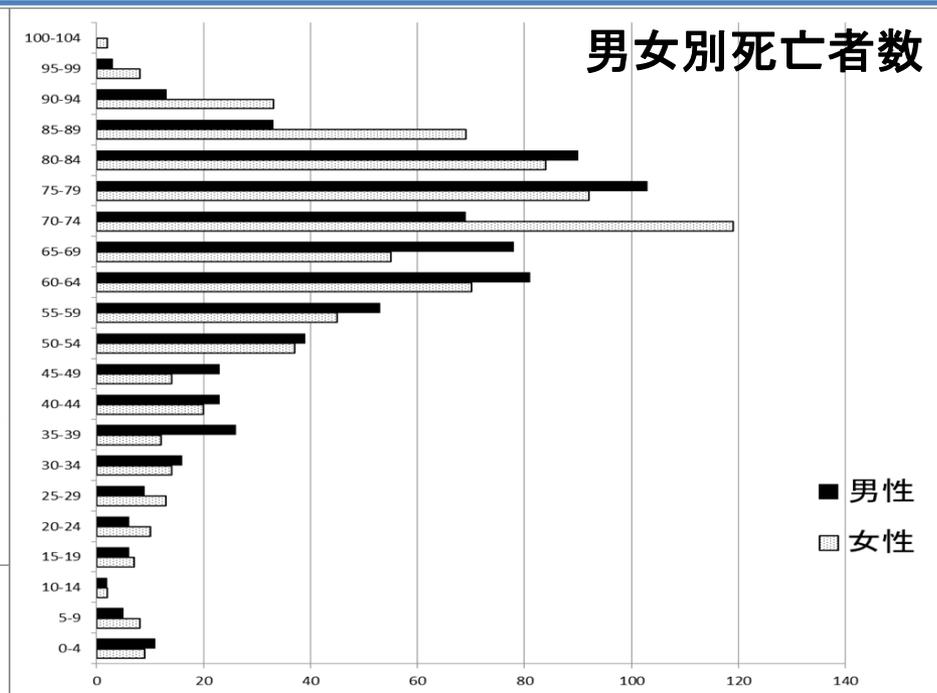
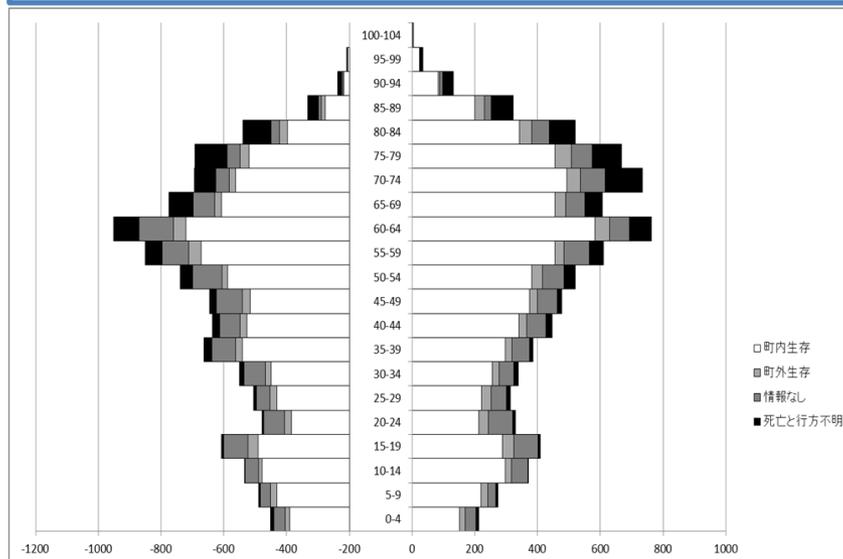
心のケア必要



- メンタルサポートと治療体制の確立
- 今こそ「予防」、改めて「予防」！
- 経年の健診・健康チェックの必要性
- 町民が高血圧予防に本気で取り組む強い町に！ とりわけ減塩！
- 「健康格差」を認識する必要性
- 予防の要は「原因と向き合い」「変われる住民を信じる」保健師活動
- ひいては生活習慣病、脳血管疾患そして認知症の予防になる。
- こども、若者世代から取り組みを！
- 医療・福祉機関の充実
- 的確な治療、入院ができる病院を
- 内科、整形外科・精神科等
- 福祉施設に加え、小規模多機能等様々な住まい方の支援機能が必要

## 2.町民が戻り、新たな人を連れてくる町づくり

- 1)ひとが増えるために
- 2)物流と交流の発展のために



- 力のある町民を増やすこと、魅力ある町づくりを重点施策に
- 震災によって町外に出てしまった人たちが町の資源と考え、彼らが力を蓄えて戻って来ることができる基盤整備、および新たに若い人が入ってくる町づくりと広報
- その人びとが新たな物流や産業を大槌町にもたらすこと
- 大槌町の文化を護りながら、これからの健康で安全な暮らしを模索

### 3.大槌町民同士の生き抜く力をひとつに！

- 1)大槌を愛する町民を核に再生を！
- 2)津波を忘れない防災・減災意識の伝承

■大槌町を愛する町民を核に再生を考えるプロジェクト

●町勢要覧には津波について、「繰り返し押し寄せる災禍に負けず」とある

■健康と産業を考えるコミュニティ育成型のアプローチ

